

年度 2009 学期 前期	曜日・校時 水・2	必修選択 必修	単位数 1
授業科目/(英語名)	総合英語 I (Comprehensive English I)		
対象年次 1年次	講義形態 演習	教室	
対象学生(クラス等)	Eg	科目分類	外国語科目(英語)
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員: 藤本 ゆかり /研究室: 非常勤講師控室 /TEL: 095-819-2078(全学事務室) /オフィスアワー: 授業終了後			
担当教員(オムニバス科目等)			
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい: 独自の経営理念を持つものづくりをする日本企業やビジネスを扱う英文を学ぶことにより、学習意欲を高め、英語の総合的な能力を伸ばし、リーディングスキルとリスニングの能力を身に付ける。経済学で用いられる専門用語を習得する。経済に関する英語の長文を理解して読めるようになる。また、経済学を学ぶ上で、経営について、さらなる興味と関心を深める。 授業方法: 予習を充分に行ってきた上で、英文を読み、理解度を確認し、読解の方法を指導する。語句や構文、文法事項に重点を置きながら、内容の正確な把握ができるようになる。テキストの練習問題により、説明と指導をしながら、語彙と文法事項の定着を図り、リスニングの能力を養う。資料等により、様々な経済問題を考える。 授業到達目標: 専門用語として、経済で用いられる英語を学んで覚え、企業や経営について書かれた英文を読み、その内容の意味を正確に理解できる。専門である経済学、及び経営を始めとする様々な経済問題に関心を持つ。また、それらについて考察し、自分の考えを持つようになり、将来の研究に備える。語句や文法事項の基礎的な力を確認し、さらにリーディングとリスニングの応用力を伸ばすことができる。英語で書かれた、経済に関する長文を読めるようになる。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要) 十分な予習を前提とした上で、テキストの英文の精読や速読を行い、正確な理解を図るべく、文章の内容を確認していきながら、語句や文法事項、及び、英文読解の方法や技術を指導します。英文の内容の理解が出来ることを示すために、毎回発表してもらいます。その中で、経済学の専門的な知識を説明することになります。英文の読解力を高めることと、専門的な経済学の専門的な英語を習得することを、目標とします。本文の内容理解を確認するための練習問題を解き、その中で語彙や文法事項、またリスニングの指導と解説をします。さらに、様々な経済問題について、英文や資料を示しますので、それらについての考察を行います。 第1回 導入・授業内容の説明 はじめに 第2回 Chapter 1 KIRIN: A Taste of Success 第3回 Chapter 2 EDWIN: JEANS 'Made in Japan' 第4回 Chapter 3 NCP: Starting from Worse than Scratch 第5回 Chapter 4 KOBAYASHI Pharmaceutical: The Name of the Game 第6回 Chapter 5 ITOCHU: Trading In One's Old Line 第7回 Chapter 6 URAWA RED DIAMONDS: Sharing the Passion 第8回 Chapter 8 TERUMO: Caring about Your Health 第9回 Chapter 9 DAISEKI: Re-thinking "NIMBY" 第10回 Chapter 9 DAISEKI: Re-thinking "NIMBY" 第11回 Chapter 10 KIKKOMAN: Soy Sauce Forever 第12回 Chapter 11 SHOEI: Keeping Ahead 第13回 Chapter 12 YAMAHA: The Sound of Music Everywhere 第14回 補足、まとめ、企業と経営とは何かについての考察 第15回 まとめと定期試験 これからの時代は、グローバル化のため、経済界やビジネスにおいて、英語がますます必要となります。英語の学習にさらに力を入れ、TOEIC テスト等も視野に入れて勉強しましょう。 また、日頃から、新聞等においても、経済記事やニュース、世の中の動きに注目するようにして下さい。			
キーワード	英語のリーディングスキル・企業・経営		
教科書・教材・参考書	Moving Ahead in the 21st Century: 12 Forward-looking Companies 『躍進する企業』 (Brenda Hayashi / 岡田圭子 他著 : 松柏社) 資料プリントを配布します。 英和辞書(電子辞書)を必携すること。		
成績評価の方法・基準等	定期試験を筆記で行います。 主に定期試験により評価をします。それに授業中の活動を加えます。 定期試験90%、授業中の発表や活動10~20%を基準とします。 また、授業態度を非常に重視しますので、注意しましょう。		
受講要件(履修条件)	授業には、全回出席することを期待します。 授業には、必ず予習をして臨みましょう。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	英語のリーディングスキルを養い、定着を図る。 経済学に対する興味を高め、企業についての知識を得、将来の研究と結び付ける。		
備考(準備学習等)	授業には、必ず予習をして臨んで下さい。 予め英単語の意味を調べ、文章の大意を掴み、テキストの問題を解いておきます。		